

UNclear physics から NUclear physicsへ

1. 原子核の変形
2. 核物質の新しい相

中井 浩二氏(KEK)

Prof. Koji Nakai (KEK)

「UNclear physics」という言葉は伏見康治先生の造語である。阪大の学部学生の頃、先生の最後の講義を受けることができた。その時の先生の言葉に導かれて、私はNUclear physicsを志した。初期は、核モーメントの研究を中心に核構造の研究に熱中した。μモーメントにおける中間子効果、Qモーメントを通じた核変形の研究など次々と面白い課題に取り組む機会に恵まれた。しかし核構造より核を構成する核物質の研究に興味を抱くようになり、ニューマトロン計画推進に努めた。ニューマトロンは幻に終わり残念であったが、中高エネルギーの物理を展開する腕力は整った。理研で話す機会をいただいたので、これ迄の経験の一部を紹介し、これからの原子核研究を担う世代の皆さんへ、やり残したこと、やって欲しいなと思うことなどをお話したい。

Jul. 2(Wed), 2008 13:30-
RIBF Conf. Hall, RIKEN

The seminar will be given in Japanese or English

Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer

npsoc@ribf.riken.jp

http://ribf.riken.jp/~seminar